

## 「びわ湖の日」についてのアンケート結果

県では、より多くの県民の皆さまが、改めて琵琶湖へ想いを寄せ、様々な活動が活発になるなど、琵琶湖とのつながりを深めていただくために、「びわ湖の日」の取組を充実させる方策を検討しているところです。

「びわ湖の日」に対する率直な意見を今後の議論の参考にさせていただくことを目的として、アンケートを実施しました。

★調査時期：平成29年8月

★対象者：県政モニター399人

★回答数：346人（回収率86.7%）

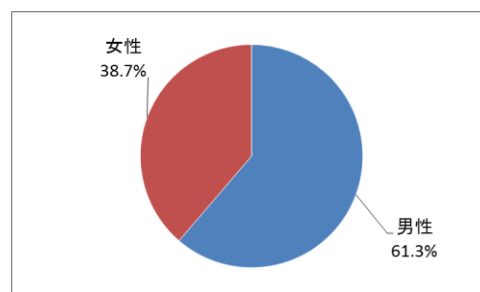
★担当課：琵琶湖環境部環境政策課

（※四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります。）

### 【属性】

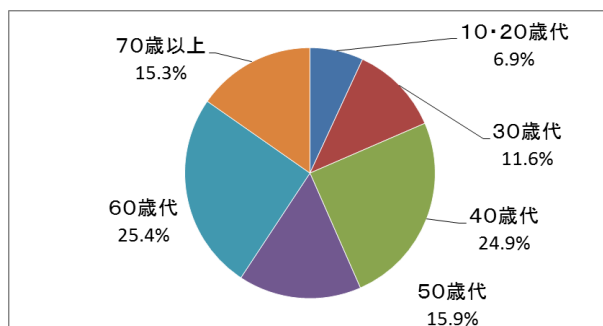
#### ◆性別

項目	人数（人）	割合（%）
男性	212	61.3
女性	134	38.7
合計	346	100



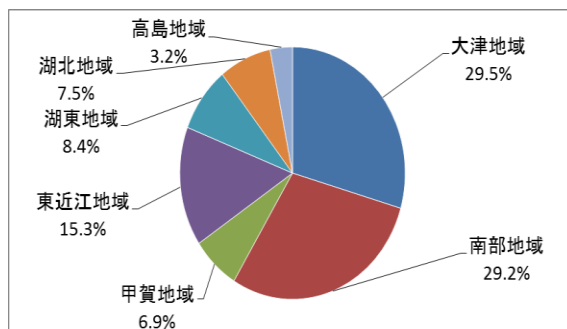
#### ◆年代

項目	人数（人）	割合（%）
10・20歳代	24	6.9
30歳代	40	11.6
40歳代	86	24.9
50歳代	55	15.9
60歳代	88	25.4
70歳以上	53	15.3
合計	346	100



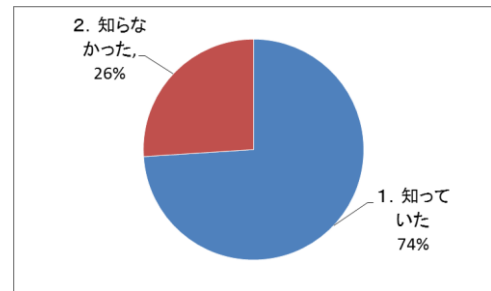
#### ◆地域

項目	人数（人）	割合（%）
大津地域	102	29.5
南部地域	101	29.2
甲賀地域	24	6.9
東近江地域	53	15.3
湖東地域	29	8.4
湖北地域	26	7.5
高島地域	11	3.2
合計	346	100



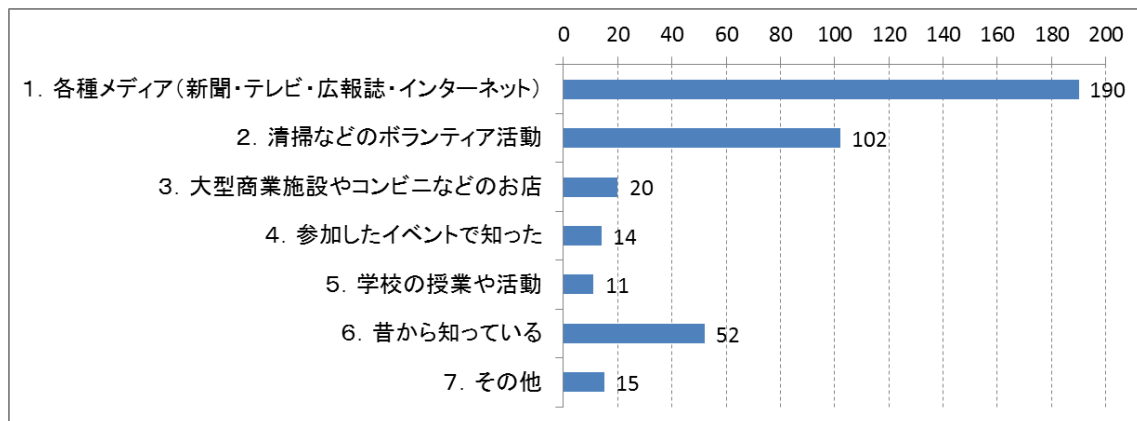
問1 7月1日が「びわ湖の日」であることを知っていましたか。(回答チェックは1つだけ。n=346)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 知っていた	256	74.0
2. 知らなかった	90	26.0
合計	346	100



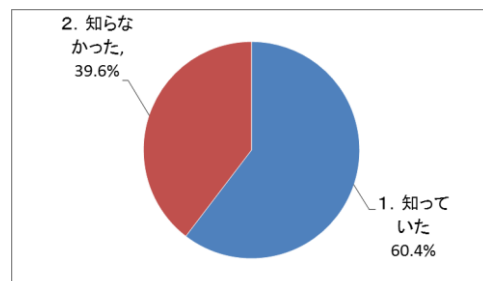
問2 問1で「1. 知っていた」と回答された方にお尋ねします。「びわ湖の日」をどのようなきっかけで知りましたか。(回答チェックはいくつでも。n=256)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 各種メディア(新聞・テレビ・広報誌・インターネット)	190	74.2
2. 清掃などのボランティア活動	102	39.8
3. 大型商業施設やコンビニなどのお店	20	7.8
4. 参加したイベントで知った	14	5.5
5. 学校の授業や活動	11	4.3
6. 昔から知っている	52	20.3
7. その他	15	5.9



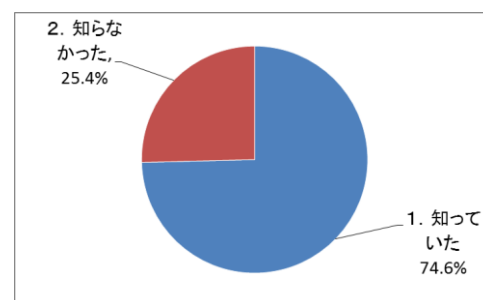
問3 「びわ湖の日」は、「滋賀県琵琶湖の富栄養化防止に関する条例」が施行された日を記念して定められています。当条例は、1977年（昭和52年）5月に大規模に発生した淡水赤潮の原因の一つが、合成洗剤に含まれているリンに起因することがわかり、県民が主体となって、粉石けんを使おうという運動（石けん運動）の盛り上がりなどを背景に施行されたものです。こうした背景を知っていましたか。（回答チェックは1つだけ。n=346）

項目	人数（人）	割合（%）
1. 知っていた	209	60.4
2. 知らなかった	137	39.6
合計	346	100



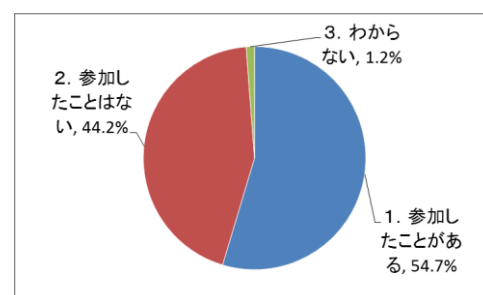
問4 「びわ湖の日」は「滋賀県環境基本条例」において、環境保全について理解と認識を深め、環境保全活動への参加意欲を高める日として定められています。これまで、「びわ湖の日」を中心に、県内一斉に清掃活動が行われてきたことを知っていましたか。（回答チェックは1つだけ。n=346）

項目	人数（人）	割合（%）
1. 知っていた	258	74.6
2. 知らなかった	88	25.4
合計	346	100



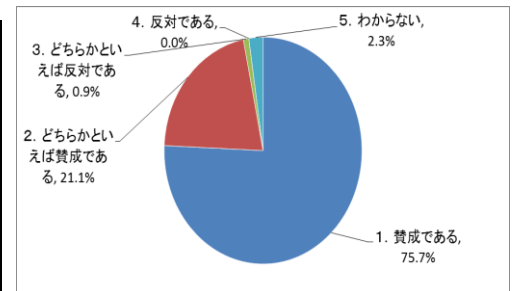
問5 問4で「1. 知っていた」を選択された方にお尋ねします。これまで、「びわ湖の日」の一斉清掃活動（びわ湖をきれいにする運動）に参加したことがありますか。（回答チェックは1つだけ。n=258）

項目	人数（人）	割合（%）
1. 参加したことがある	141	54.7
2. 参加したことはない	114	44.2
3. わからない	3	1.2
合計	258	100



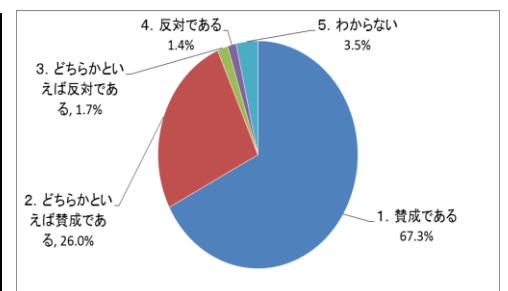
問6 きれいにする運動に加えて「豊かな琵琶湖を取り戻す」「琵琶湖と関わる」といった視点で、「びわ湖の日」に環境保全活動を行うという考えについて、どのように思いますか。(回答チェックは1つだけ。n=346)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 賛成である	262	75.7
2. どちらかといえば賛成である	73	21.1
3. どちらかといえば反対である	3	0.9
4. 反対である	0	0.0
5. わからない	8	2.3
合計	346	100



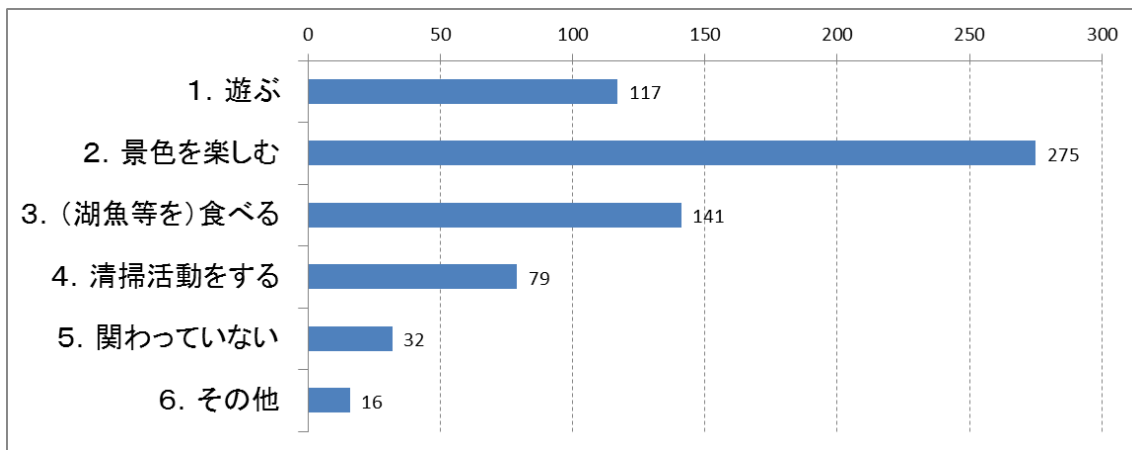
問7 「びわ湖の日」の成り立ちや活動について、県内だけでなく、県外または世界にも情報発信していくという考えについて、どのように思いますか。(回答チェックは1つだけ。n=346)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 賛成である	233	67.3
2. どちらかといえば賛成である	90	26.0
3. どちらかといえば反対である	6	1.7
4. 反対である	5	1.4
5. わからない	12	3.5
合計	346	100



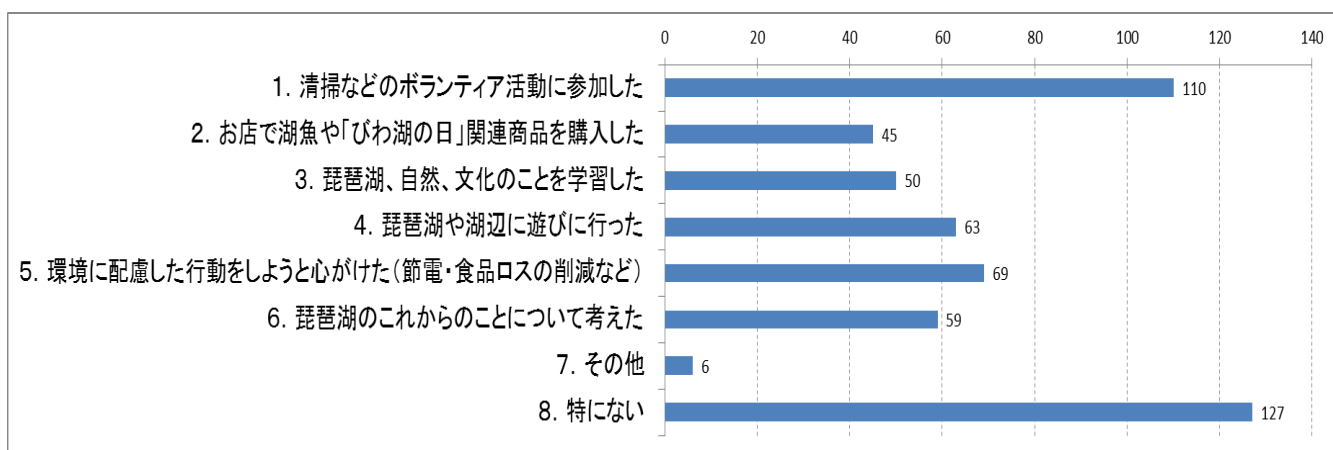
問8 あなたは、普段、琵琶湖にどのような関わり方をしていますか。(回答チェックはいくつでも。n=346)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 遊ぶ	117	33.8
2. 景色を楽しむ	275	79.5
3. (湖魚等を)食べる	141	40.8
4. 清掃活動をする	79	22.8
5. 関わっていない	32	9.3
6. その他	16	4.6



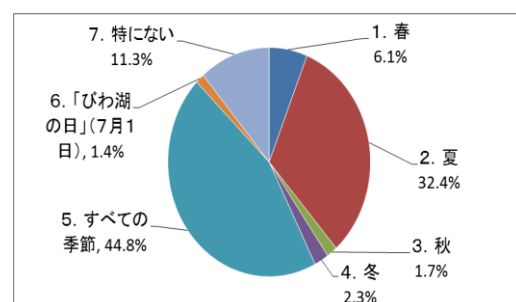
問9 今年、「びわ湖の日」を意識し、どのように琵琶湖に関わりましたか。(回答チェックはいくつでも。n=346)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 清掃などのボランティア活動に参加した	110	31.8
2. お店で湖魚や「びわ湖の日」関連商品を購入した	45	13.0
3. 琵琶湖、自然、文化のことを学習した	50	14.5
4. 琵琶湖や湖辺に遊びに行った	63	18.2
5. 環境に配慮した行動をしようと心がけた(節電・食品ロスの削減など)	69	19.9
6. 琵琶湖のこれからのことについて考えた	59	17.1
7. その他	6	1.7
8. 特にない	127	36.7



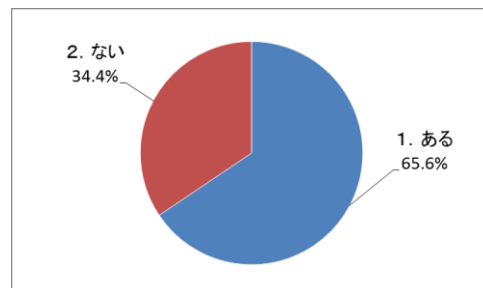
問10 あなたにとって、琵琶湖との関わりを最も感じる季節(時期)はいつですか。(回答チェックは1つだけ。n=346)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 春	21	6.1
2. 夏	112	32.4
3. 秋	6	1.7
4. 冬	8	2.3
5. すべての季節	155	44.8
6. 「びわ湖の日」(7月1日)	5	1.4
7. 特にない	39	11.3
合計	346	100



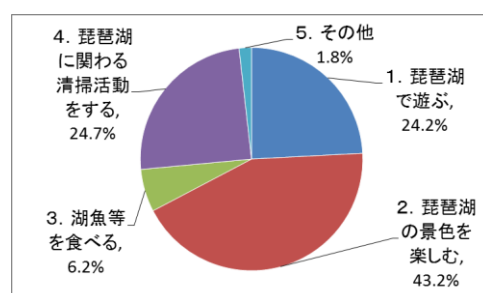
問11 県では「びわ湖の日」を休日にするについて検討しているところですが、休日の過ごし方として、琵琶湖に関わることに興味がありますか。(回答チェックは1つだけ。n=346)

項目	人数(人)	割合(%)
1. ある	227	65.6
2. ない	119	34.4
合計	346	100



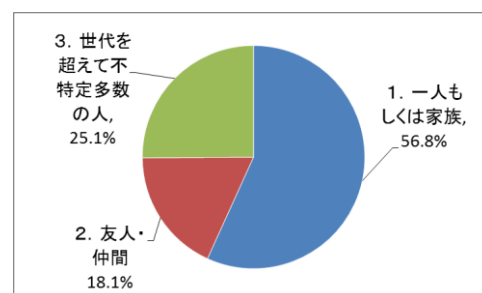
問12 問11で「1. ある」を選択された方にお尋ねします。どういった関わり方をしてみたいですか。(回答チェックは1つだけ。n=227)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 琵琶湖で遊ぶ	55	24.2
2. 琵琶湖の景色を楽しむ	98	43.2
3. 湖魚等を食べる	14	6.2
4. 琵琶湖に関わる清掃活動をする	56	24.7
5. その他	4	1.8
合計	227	100



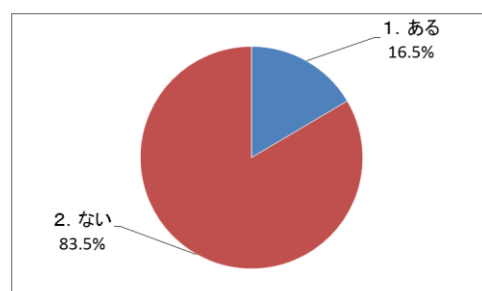
問13 問11で「1. ある」を選択された方にお尋ねします。問12で選択されたような内容の活動を誰と一緒にしようと思いますか。(回答チェックは1つだけ。n=227)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 一人もしくは家族	129	56.8
2. 友人・仲間	41	18.1
3. 世代を超えて不特定多数の人	57	25.1
合計	227	100



問14 7月1日「びわ湖の日」が休みになった場合、不都合なことはありますか。(回答チェックは1つだけ。n=346)

項目	人数(人)	割合(%)
1. ある	57	16.5
2. ない	289	83.5
合計	346	100



問15 問14で「1. ある」を選択された方にお尋ねします。どのようなことが不都合ですか。(抜粋)

- ・そんなに休みはいらない。今ある連休や定められた休日だけで充分。びわ湖の日週間などにしたらいいと思います。
- ・学校の休みが増えると、学力低下になることは、経験済みのこと。休みにしなくても、授業の一環として、学ぶことはできると思う。
- ・7月1日にこだわらず夏休み期間内に設定してもよいと思う。
- ・滋賀県のみ休みになっても意味がない。京都大阪などに仕事や学校に通っている人が多い地域なので、困る。家族内で、休日がバラバラ。
- ・子供の学校は休みになるが、仕事は休みにならないので、一緒に出掛けることができない。
- ・全国区の上場企業は休みにならないこと。そのような企業で働く父は家族団らんには参加できない。そのような企業で働く共働きの方は子どもを朝から施設に預ける。
- ・職場が県外なので、全国的な休日であれば平日と変わらない。子供の面倒はどうするのか。預け先等に困る。
- ・保育機関等預けられなくなると困る。
- ・他県にある企業との連携がむずかしくなる。また毎月の棚卸し作業に関わる。
- ・会社の休日が増えるので、仕事の遅れが出てこないか心配です。
- ・会社の理解を得るのが大変そう。多分認められないと思う点。
- ・会社は滋賀県民だけではないため、休日にならないと思われる。また、有給取得するとしても、理解を得られるかが分からない
- ・滋賀県には、沢山の滋賀県外本社の会社・工場や、滋賀県外と常にやりとりをしているビジネス（大企業の工場、その関連企業、郵便局、銀行など）がある。そういう施設、業務に携わる多くの県民が、他府県と一線を画して一斉に休日をとれるか？これは国民の休日にでもならない限り無理だと思う。単に、学校や官公庁だけが意気込んで、生活が円滑に進まないのではないか。
- ・日給制の人は所得が目減りするので可哀そうです。
- ・滋賀県のみのお休日は見直す必要がある。行政機関をはじめ・学校・医療・企業まで多種に亘り、県民は基より国民が混迷する。県は国民の休日に指定されることを、発信提案すべきである。「琵琶湖の日」に固定せず「湖の日」とでも称し国民の休日になるような努力を期待します。
- ・何故 休日にする必要が有るのか？
- ・7月1日設定される理由は理解できますが、琵琶湖の水質を保全する環境や琵琶湖の景観を考えると、何も7月1日だけではありません。取水期に琵琶湖に流入した流木や河川の不法投棄が琵琶湖に流れ込んでいることなどを考えると7月1日だけではないと考えます。
- ・休日にせずとも琵琶湖について、地球環境について意識を持つ日で十分である。



問16 「びわ湖の日」に関して、今後、県、事業者、民間団体等に対して期待することなどがありましたら御記入ください。(抜粋)

- ・キャンペーンやイベントをやったら良いと思います。興味のない世代には奉仕活動を遊びや、琵琶湖との触れ合いにつなげ関心を持ってもらうことが良いと思います。
- ・琵琶湖で遊んでもらうことによって、みんなが琵琶湖、自然全体のことを考えていけるようになればいいなと思います。
- ・特別にパンフレットなどを事前に配布して県民の関心や参加を促すこと。
- ・単に清掃日のみでなく月間に県内の施設の積極的なPR・イベントをし更に盛り上げるべき。今は大掃除との認識のみではないか。
- ・滋賀県に住んでいて、びわ湖があることは、とても自慢です。山に登れば、琵琶湖を眺める景色は、素晴らしいし、夏には泳いだり、いつでも身近に感じることが出来ます。特産品になってる、アユや鮒ずし、シジミなどどれも安心して食べれる美味しい食材です。琵琶湖を楽しむ、親しむ機会を県内外の人にかかわらず、増やしていければよいと思います。
- ・びわ湖の日が浸透していないと思うので、キャンペーンなどを1か月前くらいから、やったらよいと思う。
- ・びわ湖そのものの歴史、環境全般の指標、現在の取組などをわかりやすく子供向けや大人向けの情報を発信して皆が興味を持つようなイベントとネットなどでの発信方法を見直して広報が充実することに期待します。
- ・常日頃から県民が琵琶湖の自然保護に取り組み、その一年の結果と来年以降への取り組みを再確認するための日を「びわ湖の日」として活動するのが大事だと思います。7月1日だけがびわ湖の環境保護の日になってはいけないと思います。
- ・世界で一番素晴らしいびわ湖を生活の中に取り入れる。健康的に遊ぶBIWAKO。こころを癒やすBIWAKO。楽しむBIWAKO。いろんな楽しむ為の方法があると思います。多くの皆さんからの紹介をして戴きたいと思います。「びわ湖の日」にお願いします。
- ・これをしなければと構えて何かに参加するとなると億劫になることもあると思うので、広報誌などで身近に気軽に出来ることを呼びかけてより多くの県民が取り組めるような形にするといいと思う。
- ・びわ湖の日が制定されていたことも、その背景もしりませんでした。学校などの教育でも触れる機会はあるのでしょうか？びわこは滋賀県の宝物だと思います。日本、世界に誇れるものなので、びわ湖の日を盛り上げていくことに賛成です。ただ、知らない県民も多いと思いますので、もっとイベントやポスター掲載などで、周知、啓発を進めてほしいです。
- ・わたしが知らなかったかもしれませんが、知らない人はまだまだ多いと思います。どの年代でも親しめる企画がなにかあればいいなと思います。
- ・琵琶湖の日はその背景を知らない人が多いと思います。それはもっと県民に知らせるべきだと思います。

- ・単に休日とするのではなく各地区で琵琶湖の日にちなんだ参加者がまた来年も来たいと思えるイベントを企画することが大切。
- ・びわ湖は日本一の湖だと、学校でも習いました。他県から来た私からしても、滋賀県といえばイコールびわ湖と感ずるくらい、象徴的で大きな存在です。その象徴を大切に思うことは、滋賀に住む人たち、生き物、自然を慈しむことにも繋がると思います。そんな心を育むためにも、幼年期から教育や体験を通して、もっとびわ湖に触れ親しむ活動や授業があればいいと思います。子供たちが大きくなり、他県へ移っても、びわ湖のすばらしさやありがたさを広めていけるような誇りを持てるようになれば素敵ですね。
- ・県民全体で琵琶湖に関心を寄せる日にしたい。琵琶湖周辺だけではなく県内全体清掃活動など盛大にやりたい。
- ・琵琶湖のことだけを考えるのではなく、琵琶湖の周辺の河川についても施策が必要です。
- ・全国的に祝日になっている海の日を滋賀県だけは湖の日として、この日を琵琶湖に関わる日とする方が広がるし、活動しやすいと思います。県民がもっとびわ湖に関心を持ち、大切に感じる日になればとても良い事だと思います。
- ・カレンダーは国全体で統一されているものだから、滋賀県だけが違った休日になると、経済活動などで弊害が生じるかもしれない。何故休日にしなければならないのか説明がなされていない。休日にしなくても、しっかり「びわこの日」をPRし、発信すればよいのではないかと？安易に休日化を打ち出すべきでない。